

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

切除可能進行膵癌に対する術前化学療法の有効性及び予後予測に関する病理組織学的検討

1．研究の対象および研究対象期間

2018年1月から2023年12月までの期間に昭和大学病院で切除可能進行膵癌に対して手術を行った患者さん。

2．研究目的・方法

切除可能進行膵癌に対するゲムシタピンとテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム(TS-1)による術前化学療法の有効性が2019年頃より提言され、2022年の膵癌ガイドラインから、切除可能進行膵癌に対する術前化学療法が提案されました。手術前に化学療法を行う事により、術後の再発率を以前より抑制させる事が可能となりましたが、その病理学的な検討はあまりなされていません。そこで、私たちはどのような膵癌に術前化学療法が有効なのか病理学的に調べます。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年12月31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

病理標本（病理組織ガラス標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック等）
病理診断に付随する資料（病理検査申込書、病理検査報告書、臨床情報（年齢、性別、臨床経過、臨床検査結果、画像検査結果、手術所見、治療情報など）
（患者さんから新たな検体の採取をお願いすることはありません）

5．外部への試料・情報の提供

該当致しません。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学病院臨床病理診断学 及川脩

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部臨床病理診断学 氏名：及川 脩

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-3784-8122（臨床病理診断学）